

令和7年度石巻市市民意識調査報告書調査結果 概要版

【調査概要】

調査目的:市の施策の特定事項について、市民の関心、意向、要望等を調査し、意見を市政に反映させるための基礎資料を得ることを目的とする。

調査対象:市内に居住する無作為抽出した満18歳以上の男女3,200人

調査期間:令和7年7月25日～8月15日

調査方法:郵送による配布と郵送およびインターネットによる回収

有効回収数(率):1,307件(40.8%)

(1) 市政への関心

問1 市が行うことへの関心について

とても関心がある	217 名	16.6 %
少し関心がある	666 名	51.0 %
あまり関心がない	315 名	24.1 %
関心がない	65 名	5.0 %

問3 市から多くの市政情報が発信されていると感じますか。

多く発信されている	42 名	3.2 %
どちらかといえば多く発信されている	179 名	13.7 %
ちょうど良い	556 名	42.5 %
どちらかといえば発信が少ない	391 名	29.9 %
発信が少ない	100 名	7.7 %

【分析結果】

- 問1 若年層は市政への関心が低い
- 問2 世代ごとに情報の入手方法が異なる
- 問3 情報発信はおおむね適量
- 問4 広聴の取組みに不足感がある

問2 市政に関する情報の入手先は何ですか。

割合が高い 上位3答
全体：市報(76.9%)、新聞(42.3%)、回覧物(33.4%)
年齢別：18～29歳：「テレビ」「市報」「SNS」
30～49歳：「市報」「SNS」「テレビ」
50～79歳：「市報」「新聞」「町内会等の回覧物」
80歳以上：「市報」「町内会等の回覧物」「新聞」

問4 市は市民の意見を把握しようと努力していると感じますか。

努力していると感じる	112 名	8.6 %
どちらかといえば感じる	468 名	35.8 %
どちらかといえば感じない	531 名	40.6 %
努力していると感じない	167 名	12.8 %

市民が必要とする情報を積極的に発信

・若年層への情報発信＝SNSの効果的な活用

・全世代向けに市報の見やすさを改善

多様な市民ニーズの施策への反映を促進

・市政提案、市民意識調査、まちづくり懇談会、

動く市長室等 広聴事業を継続展開

市民と一体となったまちづくりを進めていく

(2) SDGs(持続可能な開発目標)

問5 「SDGs」という言葉を知っていますか。

実際に取り組んでいる	846 名	64.7 %
取り組んでいないが、内容は知っている	159 名	12.2 %
言葉は聞いたことがあるが、内容はわからない	177 名	13.5 %
全く知らない	108 名	8.3 %

【分析結果】

- 問5 「実際に取り組んでいる」
- 前回調査よりが大幅上昇
- 職業別では、家事専業者、学生の割合が高く、会社経営者、役員、事業主の割合が低い

問6 「SDGs」について実際に取り組んでいることは何ですか。

割合が高い 上位3答

買い物でエコバッグを使用している	707 名	54.1 %
節電を心がけている	472 名	36.1 %
使い切れる分だけ買う、食材を無駄なく使い切る	459 名	35.1 %

経営層の意識を高める

・SDGsシンポジウム及びSDGsパートナーなど

企業の取り組みを推進する施策を充実

引き続き丁寧な周知に努める

(3) 男女共同参画社会

問7 「男女共同参画社会」という言葉を知っていますか。

内容も知っている	435 名	33.3 %
言葉は聞いたことがある	590 名	45.1 %
全く知らない	243 名	18.6 %

問9 1日の家事(介護・看護・育児を含む。)時間はどのくらいですか。

割合が高い 上位3答

1時間～2時間未満	267 名	20.4 %
30分～1時間未満	215 名	16.4 %
30分未満	215 名	16.4 %

問11 「性的マイノリティ」「LGBT」という言葉を知っていますか。

言葉も知っている	415 名	31.8 %
知っており、一部については理解している	460 名	35.2 %
聞いたことがあるが、意味は知らない	242 名	18.5 %
全く知らない	151 名	11.6 %

問13 セクシャル・ハラスメント又はDV(配偶者等からの暴力)被害にあった時の相談窓口を知っていますか。

「名称も支援内容も知っている」の割合が高い 上位3答
石巻警察署(25.9%)
石巻市総合相談センター(9.6%)
宮城県東部保健福祉事務所(7.9%)

問15 問14で「賛成」「どちらかといえば賛成」と回答した理由

当事者の不安や生きづらさを軽減できるから	374 名	68.4 %
性の多様性や個人の人格を尊重する社会をつくるために必要な取組だと思うから	345 名	63.1 %
性的マイノリティについての理解促進につながると思うから	146 名	26.7 %

問8 家庭での育児や家事は、誰の役割だと思いますか。

割合が高い 上位3答

夫も妻も同様に行う	538 名	41.2 %
どちらかできる方がすればいい	295 名	22.6 %
基本的には妻の役割で、夫は手伝う程度	288 名	22.0 %

問10 男女共同参画社会を実現するために、今後、市はどのようなことに特に力を入れていくべきだと思いますか。

割合が高い 上位3答

労働時間の短縮や保育・介護サービス等、男女ともに働きやすい環境を整える	713 名	54.6 %
子育てや介護などで一度仕事を辞めた人への再就職を支援する	527 名	40.3 %
男性の家事・育児・介護への参加を促進する	351 名	26.9 %

問12 DV(配偶者等からの暴力)の内容について正しく理解していますか。

＜DVの種類・身体的暴力、精神的暴力、性的暴力、社会的暴力、経済的暴力＞

5種類ともすべて理解している	509 名	38.9 %
一部は理解している	619 名	47.4 %
言葉は聞いたことがあるが、内容はわからない	92 名	7.0 %
全く知らない	32 名	2.4 %

問14 市では、パートナーシップ制度の導入を検討していますが、導入することについてどう考えますか。

賛成	245 名	18.7 %
どちらかといえば賛成	302 名	23.1 %
どちらでもない	348 名	26.6 %
どちらかといえば反対	102 名	7.8 %
反対	76 名	5.8 %
分からない	197 名	15.1 %

問16 問14で「どちらかといえば反対」「反対」と回答した理由

必要とされている制度だと思わないから	87 名	48.9 %
性的マイノリティについて、まだ理解が広がっておらず周囲の目などから	68 名	38.2 %
法的効力がなければ実用性があると思えないから	42 名	23.6 %

(4) スポーツ

問17 直近1年間の運動頻度はどれくらいですか。

運動を行っている(43.2%)、全く行わない(30.7%)

問19 運動・スポーツに係るボランティア活動を行ったことがありますか。

ある	100 名	7.7 %
ない	1,171 名	89.6 %

【分析結果】

問17 運動を行う方の割合は増加傾向

問18 手軽な運動や場所が人気、

学校や市の施設の利用少ない

問19 全年代で参加率が低い

問18 運動やスポーツ活動はどこで行っていますか。

割合が高い 上位2答

自宅(36.7%)、公園(8.5%)

問20 何のボランティア活動でしたか。

割合が高い 上位3答

大会やイベントの手伝い(39.0%)、指導・コーチ(21.0%)、

団体やクラブの運営(16.0%)

運動頻度の向上を図る

・気軽に楽しめるスポーツイベントや教室を継続実施

公共施設の利用率向上

・SNS等を活用したスポーツ施設の情報発信

スポーツの力を地域社会づくりに繋げる取組み

・スポーツボランティア活動機会の提供や参加促進

(5) 環境

問21 市の環境についてどう思いますか。

「(どちらかというとそう)思う」の割合が高い 上位1答
田や畑の農地の緑が豊か(72.7%)
「(どちらかというとそう)思わない」の割合が高い 上位1答
海の水がきれい(22.6%)

【分析結果】

問21 「多くの自然や生物に恵まれている」、

「緑が豊か」、「空気がきれい」だと思つと

の回答がいずれも半数以上

一方で、「街並みが美しい」、「水がきれい」だと思わない市民が多い

問22 ごみの減量、リサイクル、川や海の水の汚れ、ごみの不法投棄、エネルギー問題は、前回調査同様に関心が高い

問22 あなたが関心のある環境問題をすべて選んでください。

割合が高い 上位3答
地球温暖化(79.4%)、ごみ減量、リサイクル(49.0%)
川や海の水の汚れ(46.8%)

人の暮らしと自然が調和する地域づくり

身近に緑とふれあえる環境を創出

・宅地開発や道路整備を進める際には緑化に配慮し、

自然環境を保全しながら実施

自然と調和した良好な景観保全や創出

大気を安全な状態に保つ

・「環境負荷の低減」に取り組む

地域特性を活かした景観の形成を推進

安全で清らかな水の確保

・水環境の監視を行う

「環境市民」の育成

・環境関連イベントや環境学習の場において育成

認知度の向上を図る

・ホームページ、SNSを活用した情報提供や、男女共同

参画関連セミナー、イベント、性的マイノリティ研修、中高

生向け性教育講話、DV相談カード配布、相談窓口の周

知等広報・意識啓発、理解促進を図る

男性の育児や家事に対する参画促進を図る

・意識啓発セミナーの開催

性別による役割分担意識を解消する

・セミナー等を実施

男女が共に参画できる社会の実現

・職場環境の改善等に関する研修を実施

・「石巻市イクボス宣言企業」を募集

(8) 博物館

問37 石巻市に博物館があることを知っていますか。

知っている	574 名	43.9 %
知らない	685 名	52.4 %

問39 どのような企画展だと、石巻市博物館に行きたくになりますか。

割合が高い 上位3答

美術(絵画や彫刻など)(35.4%)、歴史(30.2%)、

工芸(焼き物や漆器、染織物など)(27.5%)

問38 石巻市博物館の情報を何で入手しましたか。

割合が高い 上位3答
市報いしのまき(73.3%)、タウン情報誌「んだっちゃ」(27.2%)、
広域広報いしのまき圏(23.3%)

問40 お子さんを石巻市博物館に連れて行きたくなるような、

子ども向けの事業は何ですか。

割合が高い 上位3答

体験型展示(10.7%)、ワークショップ(工作など)(9.9%)、
職業体験(8.5%)

(6) 地域福祉

問23 市が行う高齢者福祉の施策に満足していますか。

満足している	61 名	4.7 %
どちらかといえば満足している	642 名	49.1 %
どちらかといえば不満である	430 名	32.9 %
不満である	85 名	6.5 %

問25 成年後見制度を知っていますか。

内容も知っている	368 名	28.2 %
言葉は聞いたことがある	617 名	47.2 %
全く知らない	286 名	21.9 %

問27 日常生活の困りごとを誰に相談しますか。

割合が高い 上位3答
家族(78.6%)、知人・友人(46.6%)、
家族以外の親族(25.2%)

問29 地域の助け合いやボランティア活動に関する情報や知識を必要

としたときに、入手することができましたか。

すぐに入手できた	121 名	9.3 %
時間がかかったが入手できた	192 名	14.7 %
入手できなかった	163 名	12.5 %
必要としなかった	779 名	59.6 %

【分析結果】

問23 高齢者福祉サービス利用の可能性

が高い市民や家族の満足度が低いか

問24 60歳以上「持っている」64.9%

問25 認知度 昨年度より増加

問26 雄勝・牡鹿地区が助け合いの意識

高く、地域のつながりの強さが伺える

問27 身近な人に相談しやすい

問28 地域での関係性の希薄化は若年層

から進んできている

問30 元気な高齢者の増加

(7) 中心市街地

問31 中心市街地へ出掛ける(利用する)頻度はどれくらいですか。

割合が高い 上位3答
月に1回程度(28.6%)、ほとんど行かない(27.5%)、
週に1回程度(16.4%)

問33 主にどのような交通手段で訪れていますか。

割合が高い 上位3答

自動車(77.7%)、徒歩(5.8%)、自転車(3.2%)

問35 現在の中心市街地の状況に、満足していますか。

かなり満足している	10 名	0.8 %
満足している	136 名	10.4 %
どちらとも言えない	607 名	46.4 %
満足していない	369 名	28.2 %
かなり満足していない	117 名	9.0 %

【分析結果】

問31 「月に1回程度」以上利用57.5%、

居住地別では、蛇田地区や旧町地区「年

に1回程度」「ほとんど行かない」約半数

問32 上位は前回調査同様だがかわまち

交流広場付近の日常利用が認知

問34 観光地、イベントなどの利用、景観を

活かした歩行空間としても認知

問35 満足度低下

問36 最上位「駐車場」前回調査同様

【分析結果】

問37 若年層に認知されていない

石巻市複合文化施設への来館をきっかけ

に認知した状況も見受けられる

問38 紙媒体が上位を占めている

問39 工芸など芸術とアニメや漫画の記

述が多い

問40 体験型事業が多い

問24 普段の生活で生きがいを持っていますか。

持っている	872 名	66.7 %
持っていない	390 名	29.8 %

問26 住んでいる地域は困っているときの助け合いや支え合いが行われていると思いますか。

「全体的にあると思う」、「部分的にはあると思う」(計52.2%)
「あまりないと思う」、「全くないと思う」(計37.1%)

問28 近所との程度お付き合いしていますか。

困りごとを相談できるほど親しい	115 名	8.8 %
会えば立ち話をする程度	459 名	35.1 %
顔を合わせれば挨拶する程度	559 名	42.8 %
ほとんど付き合いはない	138 名	10.6 %

問30 あなたの健康状態について、1つ選んでください。

「とてもよい」、「まあよい」(計78.4%)

「あまりよくない」、「よくない」(計20.5%)

きめ細やかな支援を広げていく

・情報が必要な方に行き届くように周知を徹底

・「高齢者の生きがいと創造の事業」の充実

・健康・介護予防事業の整備と周知に取り組む

・成年後見人制度に関するパンフレット配布や出前講座

等を通して制度の内容の広報活動実施

・顔の見える関係づくり、健康づくり推進

・相談しやすい窓口体制の整備や各相談窓口の周知

・地域でのつながりや社会参加促進の支援

・地域の助け合いやボランティア活動への関心を高める

意識の醸成

問32 どのような目的で中心街地に出掛けますか(利用しますか)。

割合が高い 上位3答
買い物(46.9%)、サービス(病院、美容院など)(29.2%)、
食事(28.2%)

中心市街地の状況について、5年前(2020年)と比較して

問34 どのように感じていますか。

「(かなり)良くなった」の割合が高い 上位1答

街並みの景観や歩行空間の魅力(21.1%)

「(かなり)悪くなった」の割合が高い 上位1答

買い物に行く場所としての魅力(35.5%)

問36 中心市街地の街づくりに望むものは何ですか。

割合が高い 上位3答

利用しやすい駐車場(45.1